

天敵製剤スワルスキーカブリダニに対する数種薬剤の影響

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

スワルスキーカブリダニはアザミウマ類やコナジラミ類などに対して有望な天敵であるが、本天敵に対する薬剤の影響については不明である。そこで、スワルスキーカブリダニに対する数種薬剤の圃場での影響を評価したので、本天敵の普及推進にあたっての参考資料とする。

2 参考資料

- 1) スワルスキーカブリダニに強い悪影響を及ぼす薬剤は、供試薬剤の中では、殺虫剤のアクリナトリン、スピノサド、アセフェート、殺菌剤のマンゼブ、昆虫寄生菌製剤のボーベリア剤である（図1、2）。
- 2) スワルスキーカブリダニにやや悪影響を及ぼす薬剤は、供試薬剤の中では、殺虫剤のアセタミプリド、殺菌剤のポリオキシシンである（図1）。

3 利活用の留意点

- 1) スワルスキーカブリダニを放飼した圃場では、本天敵に悪影響が認められた薬剤は放飼後には散布しない。なお、ボーベリア剤については悪影響は認められたものの、本天敵の対象害虫であるアザミウマ類やコナジラミ類に効果があるため併用は可能である。
- 2) 試験は6月18日にスワルスキーカブリダニを放飼し、十分な定着を確認したナス圃場で9月11日に散布（3000ℓ/10a、ボーベリア剤は9月18日）したもので、各薬剤の残効性については不明である。また、他の希釈倍数での影響についても不明である。
- 3) スワルスキーカブリダニ製剤は、野菜類（施設栽培）などのアザミウマ類、タバココナジラミ類に登録されている。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8123）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

農作物病虫害防除等の新農薬並びに新肥料資材効果確認試験 平成20年度

2) 参考データ

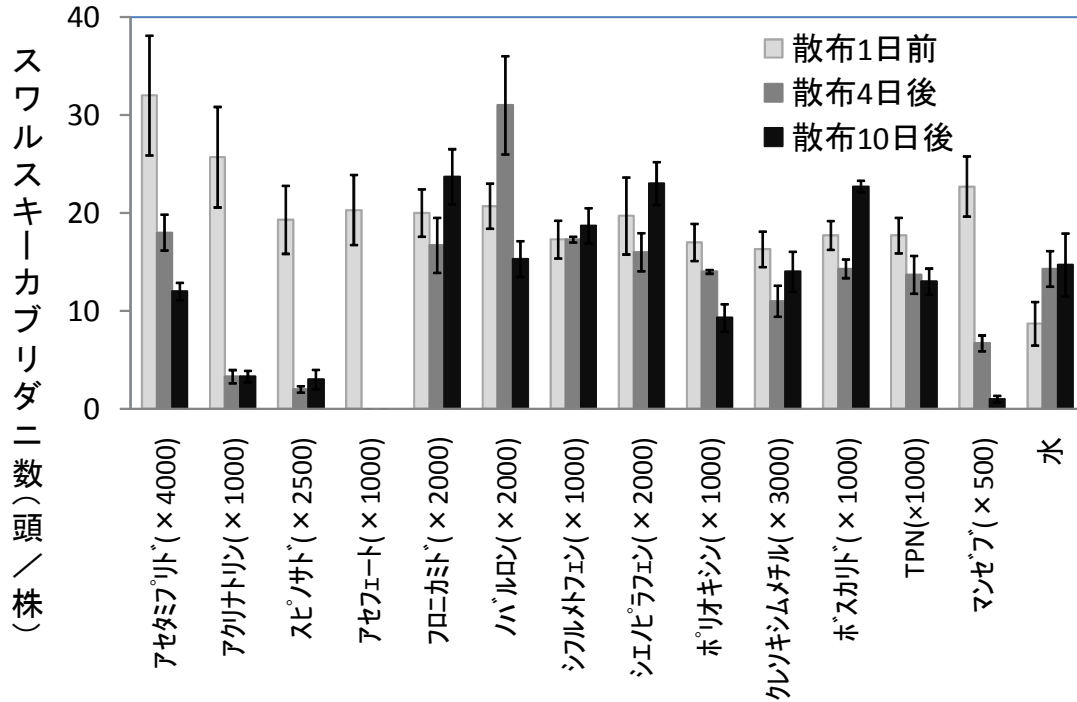


図1 スワルスキーカブリダニに対する各薬剤の影響

(平成20年, 農園研内のナス圃場, スワルスキーカブリダニは6月18日に放飼, 9月11日に各薬剤を散布, 薬剤名は剤形を省略, バーは標準誤差を示す。1区3連制)

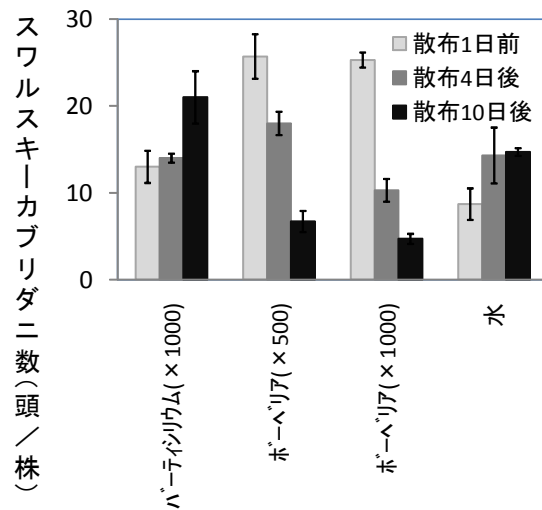


図2 スワルスキーカブリダニに対する昆虫寄生菌剤の影響

(試験時期, 場所は図1の注釈と同じ。)

3) 発表論文等 平成21年度 北日本病虫害研究会報第60号投稿予定